

7 地域への対応状況

7-1 環境の調査及び影響検討の結果

事業者が新たに計画する発生土置き場（仮置き場を含む。）等においては、環境の調査及び影響検討の結果をとりまとめ、山梨県及び関係市町へ送付するとともに、事業者のホームページに掲載した。

- ・ 早川町内湯島地区（南草里）発生土仮置き場
……………（令和3年7月）
- ・ 早川町内西之宮地区（その2）発生土仮置き場
……………（令和3年7月）
- ・ 早川町内湯島地区（田島）発生土仮置き場
……………（令和3年8月）
- ・ 早川町内中洲地区（その2）発生土仮置き場
……………（令和3年12月）

また加えて、以上の影響検討において、事後調査の対象とした項目の調査結果等について、記載している。

7-2 環境保全計画

工事計画に基づき環境保全措置を具体化し、環境保全の内容を資料としてとりまとめ、山梨県及び関係市町へ送付するとともに、事業者のホームページに掲載した。

事業者が新たに計画する発生土置き場（仮置き場を含む。）においても、環境の調査及び影響検討の結果に基づき環境保全措置を具体化し、環境保全の内容を資料としてとりまとめ、山梨県及び関係市町へ送付するとともに、事業者のホームページに掲載した。

- ・中央新幹線南アルプストンネル新設（山梨工区）工事
……………（平成27年12月、令和元年6月更新、令和5年4月更新、令和5年11月差替）
- ・中央新幹線第四南巨摩トンネル新設（西工区）工事
……………（平成28年12月、平成29年11月更新、令和4年7月差替、令和5年11月差替）
- ・中央新幹線釜無川橋りょう他新設工事
……………（令和3年4月）
- ・中央新幹線第三南巨摩トンネルほか新設工事
……………（令和3年4月、令和5年11月差替）
- ・中央新幹線第四南巨摩トンネル新設（東工区）ほか工事（トンネル掘削等）
……………（令和3年6月、令和4年9月更新、令和5年11月差替）
- ・早川町内湯島地区（南草里）発生土仮置き場
……………（令和3年7月）
- ・早川町内西之宮地区（その2）発生土仮置き場
……………（令和3年7月）
- ・早川町内湯島地区（田島）発生土仮置き場
……………（令和3年8月）
- ・中央新幹線笛吹川・濁川橋りょう他新設工事（工事施工ヤード整備等）
……………（令和3年11月）
- ・早川町内中洲地区（その2）発生土仮置き場
……………（令和3年12月）
- ・中央新幹線山梨県内高架橋ほか新設工事（小井川線路橋）
……………（令和3年11月）
- ・中央新幹線笛吹川・濁川橋りょう他新設工事（橋りょう工事）
……………（令和4年10月）
- ・中央新幹線成島保守基地ほか新設工事
……………（令和5年3月）
- ・中央新幹線第一中央自動車道架道橋ほか新設工事
……………（令和5年6月）
- ・中央新幹線早川橋りょう新設工事の準備工事
……………（令和5年9月）
- ・中央新幹線早川橋りょうほか新設工事
……………（令和6年3月）

7-3 年次報告

中間報告書を作成しない年度には、当該年度に実施した調査の結果を事業者の取り組みとしてとりまとめ、山梨県及び関係市町へ送付するとともに、事業者のホームページに掲載した。

- ・「中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価書【山梨県】（平成26年8月）」に基づく中間報告書（その2）
.....（令和3年7月）
- ・「令和3年度における環境調査の結果等について【山梨県】」
.....（令和4年6月）
- ・「令和4年度における環境調査の結果等について【山梨県】」
.....（令和5年6月）

7-4 事業説明会等

令和3年度から令和5年度に実施した地域への説明会等の実施状況は、下記のとおりである。

環境保全事務所（山梨）及び中央新幹線山梨東工事事務所、中央新幹線山梨西工事事務所を設置し、地元住民の方々からのお問い合わせに対応している。

7-4-1 工事説明会

上野原市安寺沢地区の道路付替え及び事業進捗の説明会を1回、中央市上三條地区で小井川線路橋の工事説明会を1回、甲府市下区、浜区で笛吹川・濁川橋りょうの工事説明会を計5回、富士川町高下地区で要対策土運搬に関する説明会を1回、笛吹市原区で第一中央自動車道架道橋ほかの工事説明会および工事に伴う交通規制計画に関する説明会を1回実施した。

7-4-2 その他説明会

地元住民の方々に対象事業への理解を深めていただくため、測量、道水路付替え計画をはじめ、関心が高い事項に関する説明会や意見交換会を計32回実施した。

7-4-3 山梨リニア実験線視察等

対象事業沿線にお住まいの方々に、列車走行に伴う走行音や振動等について体感していただくため、自治体の協力を得て山梨リニア実験線視察を計3回実施した。

また、地元住民の方々に対象事業への理解を深めていただくため、山梨リニア実験線試験立会を計17日実施した。

7-5 地元からの要望と対応状況

第四南巨摩トンネル新設（東工区）ほか工事の坑口部（品川方）において、周辺住民の方々に配慮した防音扉を設置した。なお、坑口部（品川方）周辺に民家があり、深夜にトンネル掘削を行うため、本線トンネル等の防音扉を二重構造にした。（写真 7-5-1）

第四南巨摩トンネル新設（東工区）ほか工事において、ベルトコンベア乗継部にゴムマットを設置することでトンネル発生土の落下音の低減に努めた。

釜無川橋りょう他新設工事において、工事箇所周辺にお住まいの方々を対象に、夜間工事に係る騒音体感を3回実施し、要望に応じて防音壁を高くする等の防音対策を講じることで、地元の方々の理解を得たうえで夜間工事を実施した。



写真 7-5-1 二重構造にした本線トンネル坑口部防音扉（第四南巨摩トンネル品川方坑口部）